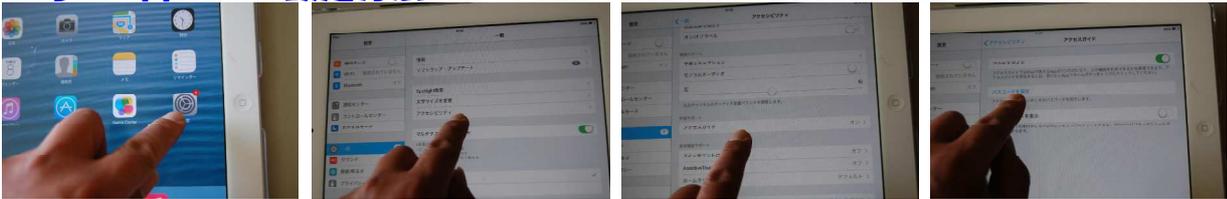


# 能代養護学校版 タブレット型端末 (iPad) 授業活用事例集①

## 事例1. Single App Modelについて

iPadやiPhoneのios6.0以上のバージョンに標準装備されている、アプリを1つだけしか使えないように固定設定してしまう機能です。設定方法は通常の画面より「設定→一般→アクセシビリティ→学習サポート→アクセスガイド」と進んでいくと設定画面にたどりつきます。

**Single App Mode設定方法** 設定→一般→アクセシビリティ→学習サポート→アクセスガイド



パスワードを4つの数字で設定。↓ホームボタンをトリプルクリック（3回続けて押す）と右上に『開始』



『開始』を押すと「アクセスガイドを開始します。終了するときは…」の文字が出て1つのアプリモード



になります。

←終了時は  
トリプルクリック  
↓  
パスワード入力  
↓  
複数のアプリ使える通常モード  
に戻ります。

### ○メリット

- ・たくさんの機能を複合したiPadは子どもにとって興味いっぱいの教具。使い勝手もいいので自由に授業に必要なアプリを開いて遊んでしまうケースもあります。一つのアプリしかコントロールできない設定にすることで、学習に集中することができます。

### ▲デメリット

- ・1つ以上のアプリを使う状況（例えばカメラとSafari※インターネットのみ使いたい等）はコントロールできない。あくまでアプリ1つだけの規制機能。

複数のアプリを使うタイミングごとに素早く設定し直す等、教師側で技能を磨きましょう。

## 事例2. Skypeについて

iPadやiPhoneにダウンロードできる無料アプリでテレビ電話の機能が使えます。テレビ電話のみの使用で校内LAN等につなげば課金無しでテレビ電話を学習に取り入れることができます。初期設定としては各iPad、iphone、Android、スマートフォンごとにSkypeユーザー登録が必要です（登録料、継続料金等はありません）。

### 授業活用例

授業活用例として、日常生活の指導（給食）における医療的ケア対象児童が食事をするケアルームとクラスメートが給食を食べる食堂を中継する試みを実施しています。

使用機器 iPad2 2台 使用アプリ Skype 無線LANルーター1台（学習系LAN接続）  
職員個人持iPhone（食堂側テザリング接続）

#### ○活用の目的

テレビ電話としての使用方法で、離れた場所で学習する児童生徒を同時中継して活動空間を共有することで、学習集団の一体感を醸成したり、学習への意欲を高めたり、児童生徒による情報のやりとり等コミュニケーション活動を充実したりする。

#### ○活用場面と具体的な活用方法

給食の時間、一人で経管栄養摂取をしている児童と食堂の学級の児童をつなぐ。食堂の児童や担任から話しかけたり、食堂の映像を見せることで、経管栄養摂取の児童の覚醒状況を上げ、食事の時間に表情や顔を向けるなどの動作で自分の気持ちを表現したり、食事に気持ちを向けたりする。

同じ学級の児童にとっても、いつも別室で食事をする経管栄養摂取の児童の姿を見ながら食事をすることで、友達との連帯感を深めるとともに、話しかけたり、話を聞いたりしてやり取りする気持ちを育てる。



経管栄養摂取児童の様子



食堂の様子



食堂の中継画像（経管栄養摂取児童側から見た画像）

#### ○メリット

- ・経管栄養摂取の児童の体調にもよりますが、テレビ電話で中継された友達や教師の声や食堂の音に反応し、画面方向を見つめる姿が確認でき、音楽を聞いたり眠ったりして過ごすことの多かった食事時間に、自主的な行動場面を引き出すことができました。
- ・食堂で食事をする児童にとっては、経管栄養の児童の食事場面に興味をもち、積極的に話しかけたり、「次はいつビデオ（テレビ電話中継）するんですか」と担当教師に確認に来たりする等、主体的に友達や教師に関わろうとする姿を確認することができました。

#### ▲デメリット

- ・給食という場面では有効だが、作業学習等では目の前の製作活動への集中力という点で課題のある子どもたちもあり、別室中継による一体感の醸成が逆に目標達成の妨げになることも考えられ、使用場面が限られてくると考えられます。
- ・中継場所に校内LANの口が無い場合、本事例の食堂中継のように、教師の個人持ちiPhoneのテザリング機能（iphone自体をタブレット端末のインターネットの接続口とする機能）を使う等、教師個人の裁量による部分が大きくなってしまいます。また、交流先等のネット環境や鉄骨の建物による電波の遮断等で画質や音声が悪くなるという特性もあります。なにより大事な授業中にテレビ電話が切れるというトラブルは十分に予想でき、トラブルにも冷静に対処できる教師側の技術を研鑽する必要があります。

タブレット型端末授業活用事例集①はいかがだったでしょうか？基本的な事例紹介でしたが、今後7月、9月、11月、1月に事例集②～⑤を更新していく予定です。よろしくお祈りします。担当：情報図書部